

中間試験へのコメント 平均は 64 点でした。

- 1 平均 16.9 点．基本的にはよくできていました．ただ，部分空間についての理解が十分でない人も多くいました．重要な概念なので，しっかりと抑えてください．
- 2 平均 15.8 点．基本的にはよくできていました．最後の (3) において，考えている空間は多項式の集合なので，基底としても多項式を持ってくる必要があります．
- 3 平均 12.5 点．演習問題 6 で出題した問題ですが，よくありませんでした．多項式を変数とする写像の扱いの段階で躓いた人も多かったです．
- 4 平均 11.8 点．固有ベクトルの計算で間違えた人が多かったです．後期の後半においても固有値・固有ベクトルの計算は重要ですので，できなかった方は復習して，確実にできるようになってください．
- 5 平均 7 点．演習問題 5 で出題した問題ですが，よくありませんでした．この問題の難しさは「扱う行列の成分は複素数であるが考える係数体は実数体である」という点です．これは複素数は実数上のベクトル空間と見なすことができることが関係しています．この事実は非常に重要なので，抑えておきましょう．

中間試験において，平均点 (64.02 点) 以下の方にはレポート (中間試験の問題の解き直し) を課します．問題は 5 題ありますが，点数に応じた問題数 (41 点以上 3 題，40 点以下 5 題) だけ解いて 1 月 9 日 (火) までに提出ください．なお，41 点以上の方の解答する問題の選び方ですが， $(\text{中間試験での大問 } i \text{ の得点}) \div (\text{大問 } i \text{ の総点数})$ ($i = 1, \dots, 5$) をそれぞれ計算して，低い順から 3 題選ぶようにしてください．

レポートの書き方についての注意事項

1. 学籍番号および氏名を忘れずに書くこと．
2. レポート用紙は自由です．市販のレポート用紙でなくても，普段使っているルーズリーフでもよいです．ただし，ばらばらにならないようにステープラー等で綴じるようにしてください．
3. 丁寧に書くよう心掛けてください．レポートの見易さも評価対象とします．時々，解読に時間が掛かるものがあります．レポートは飽くまでも他人に見てもらうものですので，最低限読めるように書いてください．
4. 用紙を使い惜しまないようにしてください．一頁にむりやり詰め込んで書いてしまうと，どの問題について記述しているのかを判別することが難しくなります．
5. レポートは，試験と違ってノート・教科書なども参考にしないで構いません．ただし，解答をそのまま書き写すことがないようにしてください．また，参考にしたものはレポートに記載するようにしてください．